

グループホーム すみれの花

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	4	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念と別に、グループホーム独自の理念を職員全員で作っている。 ゆっくり『穏やかに・安心して』 にっこり『今、幸せだなあ。楽しいなあ』 しっかり『ありのままを受け入れ、自立支援のお手伝い。』	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示し、グループホーム会議やカンファレンスを通じてサービスの質の向上に心がけている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族に対しては、入居時に説明している。面会時でもコミュニケーションの機会をもち理解を求めている。地域に対しては、運営推進会議の中で話題にしている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時の挨拶や資源回収、清掃への参加を通じ交流している。地域の商店やクリーニング店を利用して、気軽に話せるようになってきた。また、もちつき・夏祭り等のイベントに参加して頂けるようポスターを作成し、参加を促している。	1	入居者のその時々状況に配慮した上で、隣近所との交流も深めていきたい。
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として町内会・自治会にも加入しています。地域の体育祭に招かれ見学に行ったり、近隣の中学生が琴の演奏に来てくれたりと、地域との行き来があります。8月に行なった合同夏祭りでは、地域の方々が大勢来て下さり大変な賑わいになりました。太鼓も叩いてくださっています。	1	地域との交流を深めて計画的に交流する機会を増やしていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の一員として貢献したいと、開設前に「グループホームはどんなところか」について説明に向かっています。運営推進会議を通じて、地域の方々が「介護保険制度について」や「グループホームについて」詳しく知りたい場合は、説明に伺います（若しくは見学に来てください。）と発信している。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	2月23日のグループホーム会議にて、「外部評価がなぜ必要なのか？」について勉強会を行った。その中で、外部評価の意義について職員が理解でき、自己評価票についてもスタッフ全員で取り組んだ。	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。毎回資料を作成し、提供状況を報告している。民生委員や包括支援センターからも多彩な意見が寄せられ、サービスの向上に役立っている。	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	開設して間もないので、分からないことも多々ありますので、随時連絡しています。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に成年後見制度を活用している事例は無いが、勉強会を実施し、知識として職員に理解させている。パンフレットなども準備して、説明しやすいようにしている。	0	
	11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月に1回のグループホーム会議、カンファレンスなどさまざまな場で言葉遣いや態度に問題が無いか注意しあっている。施設内で勉強会も行なわれており、参加できない職員も資料を閲覧し、知識の向上に努めており、外部研修にも参加している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には、十分な説明で同意を得ている。今まで寄せられた質問についてもあらかじめこちらから説明を行ったりしながら、より分かり易い内容で進めている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置すると共に、玄関口にはご意見ポストを設置し意見を収集している。苦情ではないが、日頃からの会話からでる意見も運営に反映させている。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会の際に、日々の生活面・健康面の報告を行ない、緊急時には電話連絡を行なっている。半年に1回は手紙で近況を報告しています。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置すると共に、玄関口にはご意見ポストを設置し意見を収集している。そのほか、面会時にはコミュニケーションに努め、お話の中からも改善のヒントを頂いている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回のグループホーム会議、申し送り、などで意見や提案を聞き運営に反映させている。また、運営者との面談の機会があり、悩みや改善点について直接話すことが出来る。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	申し送りのときに人員に不足がないか確認し、必要があれば随時勤務変更を実施しています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人全体として、個別処遇と馴染みの人間関係による介護を重要視しており、異動などでメンバーが変わる場合は人員にゆとりを持たせると共に、早く知っていただけるようレクリエーションなどで紹介している。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に関しては性別・年齢等を理由に採用対象から排除していない。やる気や資質を重視しており、応募時は一次面接を実施し慎重に検討している。職員は希望の休日を取ることで有意義な時間を持つことを勧めている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	新採用時及び年間を通して計画的に『高齢者に対する尊厳』や『プライバシーの保護』、『高齢者虐待防止』などについて教育を実施している。時には外部機関に来ていただくこともあります。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間計画を作成し、計画に沿った研修を行なっている。また、新採用職員に対するチェックリストを作成し、段階に応じた内部・外部を含めた研修会への参加や勉強会を行なっている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームに多数見学に行き、交流を図ると共に、サービスの向上に心がけています。	1	勉強会への参加・施設見学等を通じてさらに交流を深めて行きたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者との面談の機会があり、業務の不備や改善点・不満などを聞き、より働きやすい職場作りに反映させている。管理者のみの会議を実施し、問題解決の場としている。ほぼ全てのスタッフを集めての忘年会や節分には豆代(精動手当て)を支給したり、3年に1回は海外へ職員旅行に出かけたりと、福利厚生の実施にも心がけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)		
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者が随時面談を行ない、職員の想いや悩みを聞くとともに、努力や実績・勤務状況を評価し、やりがいを持って働けるよう心がけている。また、勤続3年以上の職員を対象に年に1~2回、ドイツや韓国に海外研修に派遣する仕組みがある。永年勤続者には、永年勤続功労が実施されている。	1	個人別力量表を作成・活用し、目標を持って働ける仕組みを作りたい。		
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1~2(自己 25~34・外部 15~16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0			
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時には、本人・家族の思いが汲み取れるよう特に時間をかけて、話をしている。相談に来る方々は、どうしていいかわからずパニックになっている方も多いため、話を聞きながら、「何を望まれているのか」を模索している。	0			
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	上記と同様。家族の希望に合わせて受け入れられるよう努力している。	0			
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときに詳しい状況を伺い、「今、何が必要なのか」を検討している。必要があれば、併設の他事業所職員にも対応を相談している。	0			
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	雰囲気になんとも慣れていただけよう、利用開始前に家族と見学に来ていただけよう促している。	0			
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29~34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	0	
		係り2 継続 これ までの 関係 づく り の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、敬いの気持ちを持って日々接している。花の名前や行事の由来、歌など職員が教わることもとても多い。お菓子を作ったり、掃除をしたりしながら、日々の生活の中で、共に笑い・共に喜び・共に泣き、一緒の時間を共有している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に気軽に話し合える雰囲気を作っている。また、対応に困ったときなどは家族に相談し、情報交換を行なっている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の気持ちを考え、状況に応じて別々に話す時間を設けている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	葉書や電話を通じ、関係を断ち切らないようにしている。面会時に写真を撮らせてもらい、思い出を作るお手伝いをしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を把握できるよう、グループホーム会議やカンファレンスや申し送り・情報ノートを活用して情報の共有化に心がけている。人と関わるのが苦手な方に関しては、その方の趣味・趣向を活用して孤立しないように対応している。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	亡くなられ、退居された方が1名。契約終了後、時期をみてその方のアルバムを作りご家族にお渡ししました。中途退居者は現在のところいない。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		日常の関わりの中で、一人ひとりの思い・意向の把握に努めています。自分で訴えられない方に対しては、どのようなことを望んでいるかを検討して支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時や面会時に、職歴や趣味・趣向、サービスを利用するにいたった契機や今まで利用したサービス等・・・について幅広く話を伺っている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常の関わりの中で、どのように過ごしたいのかを考え、会議やノートを通して情報を共有化している。	1	センター方式なども活用して、さらに掘り下げて行きたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・職員などで随時カンファレンスを行なっている。また、月に1回のグループホーム会議や申し送りなどで意見交換を行ない、計画書に反映させている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回は見直しを行なっているが、利用者の状態に変化がある時には、その都度情報収集を行ない、ケアプランの見直しを行なっている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに関する記録・経過記録とともに、特記事項を書くノートがあり、そこに気になった事柄に記入している。計画書の見直しの際にも活用している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別に合わせたプラン作成後、本人様に添った支援を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員に関しては、運営推進会議を通じて意見交換を行ない、地域との関係強化を進めている。その過程で、ボランティアなどの社会資源の掘り起こしが出来てきました。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	個別に沿った受診や訪問歯科・訪問マッサージ等利用している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、協働してサービスの向上に努めています。利用紹介や相談もあり、連携を図っている。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの協力病院にて月1回の往診・3ヶ月毎の定期健診を実施している。希望があり、他病院への受診する方も多数いらっしゃいます。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師との連携を行なっている。現在内服をしている入居者もいる。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設事業所の看護師との連携を取っており、夜間もオンコールにて報告・指示を受けられるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の際には面会を行ない、医師・看護師と情報交換を行なっている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族の意向を確認し、職員で共有しています。重度化や終末期にイメージがわからない方もいらっしゃると思いますが、半分以上の方が、老人福祉施設に入所希望をされている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在は重度や終末期の方はいない。併設施設の看取りマニュアルを参考に、検討している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	リロケーションダメージが少なくすむように、見学に来ていただき、施設や職員を見知っていただいたり、使い慣れたもの（仏壇・家具など）を持ってきていただいている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	3	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	3	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物は、目に触れないところに収納している。職員は、利用者様に対して馴れ合いにならないように、グループホーム会議やカンファレンスを通じて言葉遣いに関して確認を行なっている。また、個人情報の取り扱いやプライバシー保護について研修を行なっている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	会話の中で希望を聞き、行事等の説明もその方にあった分かり易い言葉で説明して、納得いただいている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの動きを見て、居室で過ごしたい方、本を読みたい方、お話をしたい方、動きを把握して自分のペースで生活していただいている。	1	センター方式などを活用し、よりその人らしい生活ができるようにしたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問美容を利用しているが、個人で行きつけのある方は家族と行かれている。また、朝は、洗面所でお化粧をして頂き、洋服も好きなものを選んでいただいています。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は管理栄養士を中心として施設で提供している。お汁とご飯・オヤツはホームで作っている。食材を切ったり、皮をむいたり等の調理や食事の準備、片付けも入居者を中心に行ない、にぎやかな食事の時間になっている。また、年に2回、アンケートを実施し、改善に努めている。	1	好きなものを選んでいただけるような、選択メニューなども行いたい。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物はその都度希望を聞いている。タバコについては制限はしていないが、現在喫煙者はいない。飲酒についても同様。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	それぞれの排泄リズムを把握し、失禁なく快適で清潔が保持されるよう心がけ、必要な方には時間や行動を観察して誘導している。また、入居前はおむつを使用し定期的に下剤を服用されていた方が、運動と食事の調整により自然排便が出来るようになった。布パンツとパットで過ごされるようになり、便失禁もほとんどみられなくなった。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者様の希望や健康状態、気分を考慮して、気持ちの良い入浴の提供を心がけています。入浴剤を使用し、リラックス効果も考慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様お一人おひとりの生活習慣を考慮・把握して、適度な午睡や就寝の支援を行ない快適な生活リズムができるようにしている。また、何年も眠剤を服用していた方がご自分から「飲まずに眠れるようになった」と申し出があり薬を中止した。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備、片付け、食器洗いに洗濯物たたみ等、出来る方には手伝っていただき、役割を持って生活していただいている。手芸や書道など今までの趣向を継続していただいている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭はご自分で管理されており、買い物の際には支払いを自分たちで行なえるよう支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様の希望で、玄関や庭に出て野菜や草花に水を撒いたり、近所の公園に散歩に行っている。週1回程度行く買い物にもできるだけ同行していただいている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	福岡タワーや大相撲観戦などに出かけている。今後は野球観戦に行く予定。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望がある場合には、かけていただいている。携帯電話を持っている利用者様もおり、家族や友人とコミュニケーションを図っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	利用者様のご家族や知人が施設に訪れることもしばしばある。ゆっくりとお話できるよう、お部屋や落ち着いた話せる場所に案内している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体で、身体拘束委員会が活動しており、委員を中心に身体拘束防止に努めている。現在身体拘束はしていない。職員が身体拘束に関して正しい知識が得られるように勉強会も実施している。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	プライバシー保護の為、居室・玄関のドアに鍵はつけているが、職員が施錠する事はない。ホームが2階という構造上、EVを使用しなければならず、事故防止の為に通常は運転を休止している。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在確認と職員間の声かけに心がけ、プライバシーに配慮しながら安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	安全に配慮しすぎて、家庭的な雰囲気が削がれてしまっただけでは意味が無いので、物品や利用者様の配置を検討し、安全で居心地のいい環境の維持に心がけている。危険物に関しては、紛失などの発見が容易であるように、担当者と時間を決めて物品の点検を実施している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人内に事故発生防止委員会があり、インシデント・アクシデント報告書を活用して事故防止に心がけている。報告書の提出後は、さまざまな角度から原因を追究し、改善に繋げている。また、勉強会を通じて、知識の向上にも努めています。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	同法人で年間を通じて計画的に内部研修を実施している。随時、外部研修にも参加している。	0	
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、併設施設と合同で防災・避難訓練を行っています。	1	運営推進会議等で地域の方の協力体制についてアドバイスをいただく。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	面談時や契約時に、事務・看護師・介護士など他職種が参加し、おこりうるリスクについて専門的視野から説明しています。また、家族の面会時に日々様子を伝えている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定を行なうと共に、状態観察に心がけている。少しでも変化、いつもと違うことがあればすぐに申し送り、様子を見ており、異常があれば看護師に相談後、受診を行なっている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の情報提供表をファイルに入れていつでも管理できるようにしている。予測される副作用については確認すると共に、薬が変わった場合には、申し送りを通じて周知させている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	勉強会を通じて知識の向上を図り、水分摂取や腹部マッサージ、適度な運動を心がけている。レク等でも入居者様に紹介し、便秘予防に心がけてもらっている。朝食にヨーグルトやバナナを提供するようになって便通が良くなった方もいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に居室にて口腔ケアを実施。一人一人の状態に合わせて支援している。異常が見られた場合は看護師に連絡し、状況に応じて受診（往診）している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が栄養バランスを考慮してメニューを作成している。食事チェック表にて摂取量を管理し、水分量の少ない方には好みのものを提供し、水分補給を促している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人内に感染予防対策委員会が設置されていて、感染予防に関する対応策について協議し、徹底させている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	管理栄養士が衛生管理を中心になって行っている。日常において、職員は勿論、利用者様にもこまめな手洗いを実施して食中毒の予防に心がけている。どこでも手指消毒が出来るよう消毒ジェルを数箇所に設置すると共に、職員に常に携帯させている。また、冷蔵庫は毎日チェックしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	緑に囲まれた明るい施設であり、こじんまりとした木調のドアになっており、安心して出入りできる空間になっている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の作品を飾ったり、生け花や絵画・季節の飾り物（クリスマスリースや鏡餅、等）を飾ることで、落ち着く雰囲気作りに配慮している。対面キッチンや木の椅子等を置き、開放感のある空間作りに心がけました。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファや椅子を設置し、状況に応じて思い思いに過ごせるような空間作りに配慮している。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使ったあった仏壇やテーブル、自分で作られた刺繍作品等・・、持ち込んでいただき、馴染みのあるものがある部屋で、居心地良く生活していただいている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温・湿度計を設置して、それを1日3回確認しながら室内温度・湿度を調整している（温度は快適温度18～25になるように調整）。特に湿度は50%を切らないように注意している。また、定期的に換気を行ない空気のおどみや匂いが無いように努めている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87～89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、通路には手摺りを設置したり、歩きやすい、移動しやすい空間になるように物品の配置に注意している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常の関わりの中で、排泄チェック表などを活用し、「失敗させないケア」に努めている。逆に介護のし過ぎになってはいけないので、カンファレンスを通じて、その方の能力（出来ること）の見きわめに心がけている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りには小さい庭がある。屋上にも菜園を作り、野菜や花を栽培している。また、入り口から玄関までの通路にはプランターを置き、花を飾っている。季節や天候のいい日には入居者様に水撒きや草取りをお願いしたり、散歩に出かけている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。